

令和8年度 施設管理運営事業評価票(令和7年度実施分)

1 評価対象施設

公の施設の名称		宝塚市立花屋敷グラウンド			
所在地		宝塚市花屋敷荘園4丁目2番			
指定管理 者	団体名	国際ライフパートナー株式会社	指定期間	開始日	令和 6 年 4 月 1 日
	所在地	宝塚市花屋敷荘園4丁目2番35号		終了日	令和 11 年 3 月 31 日
選定方法		公募	評価実施年	指定期間5年のうち2年目	
施設設置目的		青少年の心身の発育並びに住民の体育・スポーツの振興を図ることにより、心身ともに健全な青少年、住民の育成に寄与することを目的とする。			
主な実施事業		①健康保持のための教室及び各種スポーツ教室の開催 ②社会体育施設の管理運営の受託事業 ③健康・スポーツに関する調査研究及び情報提供 ④その他目的を達成するために必要な事業			

2 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	利用人数	千人	190	210	190	200	190	189	190	203
b	利用率	%	60	63	60	58	60	52	60	51
c										
d										
e										

3 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:千円)

区 分		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度決算	
収入計		A	40,178	38,097	41,636	41,968
指定管理料			17,980	17,980	23,012	22,500
利用料収入		C	11,899	11,314	10,459	11,453
自主事業収入			8,523	7,296	7,196	6,960
その他			1,776	1,507	969	1,055
支出計		B	39,396	37,815	41,445	41,864
指定事業費			35,201	34,799	38,157	38,681
内、人件費		D	20,921	21,210	24,331	22,493
内、再委託料		E	5,854	5,180	3,946	4,295
自主事業費			4,195	3,016	3,288	3,183
事業収支		A-B	782	282	191	104
利用料金比率		C/A	29.6 %	29.7 %	25.1 %	27.3 %
人件費率		D/B	53.1 %	56.1 %	58.7 %	53.7 %
再委託費比率		E/B	14.9 %	13.7 %	9.5 %	10.3 %

・「支出」欄「指定事業費」は、代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。	
・着色セルは、自動計算としている。	
・事業費は、前年度以前の決算を記載する。	
補足説明	

4 評価

注) 自己評価…指定管理者 所管評価…施設所管課

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	A A A	A A A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。 外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	A A	A A
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	A
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令等を遵守している。 個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	A A	A A
	情報公開	情報公開に関する法令等に準じた運用を行っている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	A A	A A
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A A	A A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A S	A A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。 緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A A A	A A A
	財務状況	団体の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	A	A
	《 総 括 》	「業務の実施体制」に関する評価 【標準18項目／本施設 項目】	A	A
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A S	A S
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。 言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	A A A	A A A
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に添った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A A A	A A A
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A A A A	A A A A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	A	A
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	S S	A S
	利用者アンケート等	利用者アンケート調査等を実施し、その結果が妥当である。	A	A
	利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	A	A
	《 総 括 》	「業務の内容・水準」に関する評価 【標準18項目／本施設 項目】	A	A
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	A	A
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	A
	《 総 括 》	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目／本施設 項目】	A	A
指定管理者所見 (成果、課題、今後の改善点等)		・稼働率と駐車数が前年並みの一方で、利用人数が増加した。 ・施設に隣接する住宅境界部の除草、伐採作業を実施するなど、地域に根差した施設運営に取り組んだ。 ・運営委員会での協議を踏まえ、施設アクセスについて、利用団体へ継続的に乗り合い協力を要請するとともに、より具体的な注意事項を盛り込んだ内容をホームページ等で発信し、地域との共生に努めた。 ・自主事業については、老若男女問わず楽しめるニュースポーツ(モルック)の開催を通じ地域の方々を中心にご利用いただくなど、地域連携の一助となっている。		
施設所管課所見 (成果、課題、今後の改善点等)		利用人数が増加したことは評価できる。また、地域連携協力として清掃活動や夏祭り等の協力を行ったり、管理棟内の受付スペースについては季節ごとに飾り付けするなど、気持ちよく利用していただけたよう工夫されている。今後も地域に寄り添った運営に期待する。		
前年評価		A	総合評価	A

※評価区分

評価基準:	S	=	協定書等の水準を大きく上回っており、優良である。
	A	=	協定書等の水準を満たしており、良好である。
	B	=	協定書等の水準を満たしているが、一部改善が望ましい。
	C	=	協定書等の水準を満たしておらず、改善が必要である。
《総括》:	S	=	評価基準が全てA以上であり、かつSが過半数である。
	A	=	評価基準のうちBが3割未満で、Cがない。
	B	=	S、A、C以外
	C	=	評価基準にCが1つでも含まれる。
総合評価:	S	=	自己評価、所管評価の《総括》にB・Cが含まれず、かつSが過半数である。
	A	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、Bが2つ以下である。
	B	=	S、A、C以外
	C	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。